

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	5-3-3		事業名	交通結節点改善事業(JR白石駅周辺地区)				
担当	建設局土木部道路課 長南 211-2617							
全体計画								
事業内容	鉄道により分断されている市街地の一体化、交通結節点へのアクセスの向上や公共交通機関の乗り継ぎ利便性の向上を図るために、交通結節点周辺における施設整備を一体的に行う。			<年度別の事業内容>				
	<JR白石駅周辺地区> 自由通路の新設と駅舎の橋上化 北口駅前広場の整備 交通容量の増大に対応した南口駅前広場の拡張 白石駅北通の整備 各施設のバリアフリー化			(平成19年度) 白石駅北通整備着手 (平成20年度) 白石駅北通整備完了 人道橋・乗換跨線橋切替(仮設工事) (平成21年度) 自由通路整備着手 駅舎橋上化工事着手 (平成22年度) 自由通路・駅舎供用開始 北口・南口駅前広場整備				
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)			平成20年度事業内容(予算)				
	(白石駅北通) 整備工事(幅員21m、延長320m) 用地取得 (北口広場) 仮設バス転回場整備(800㎡) 用地取得 (駅舎・自由通路) 移転補償			(白石駅北通) 整備工事完了(幅員21m、延長320m) 用地取得 (北口駅前広場) 仮設駐輪場整備(900㎡) 用地取得 (駅舎・自由通路) 人道橋・乗換跨線橋切替(仮設工事) 駅舎移転補償				
達成目標の状況								
項 目			18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (予 定)	21年度末 (予 定)	22年度末 (予 定)	22年度末 (目 標)
JR白石駅自由通路の整備			-	-	-	工事中	供用開始	供用開始
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)								
市民との連携、市民参加 当事業は、地域から寄せられた要望などを元に事業化した取り組みであり、また、地域の住民の方々で構成しているJR白石駅周辺地区街づくり協議会と連携しながら事業を推進している。								
企業等との連携・協働 [資金協力] [人材協力] [情報協力] [その他の協力] JR・バス等の公共交通事業者と事業連携を図りながら交通バリアフリー化を推進している。								
市民・企業等が参加しやすい環境づくり 定期的に事業の進捗状況や今後のスケジュールをJR白石駅周辺地区街づくり協議会へ報告・説明するなど、事業の推進に関する情報を地域の方々と共有することで、当該地区のまちづくりに参加しやすい仕組みとなっている。								

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード	5-3-3		事業名	交通結節点改善事業(JR白石駅周辺地区)		
評価(成果)				課題		
平成22年末の自由通路・橋上化駅舎の供用開始に向けて、予定通り事業を実施しており、当該地区の「アクセス性の向上」、「鉄道により分断されている南北市街地の一体化と活性化の向上」、「公共交通機関の乗り継ぎ利便性の向上」、「バリアフリー化」を図るべく事業を推進させることができた。				利用者の利便性を考慮した自由通路・駅前広場の活用ルールなどについて、引き続きJR白石駅周辺地区街づくり協議会や関係機関と連携し、検討を進める必要がある。		
今後の事業の予定・方向						
<p>駅北側からのアクセス性を向上させるために、20年度に駅北通の整備を完了させ、また、21年度から自由通路と橋上化駅舎の本格的な整備に着手する。</p> <p>このため、今後も地域の住民の方々やJR北海道などの関係機関と連携体制を築きながら、事業の円滑な推進を目指す。</p>						
事業費の推移						
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計
計画	事業費	1,510,000	498,000	967,000	1,549,000	4,524,000
	財源内訳					
	国・道支出金	650,000	191,600	405,100	687,200	1,933,900
	市債	529,000	207,000	365,000	540,000	1,641,000
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	331,000	99,400	196,900	321,800	949,100
予算	事業費	1,510,000	627,000	-	-	2,092,000
	財源内訳					
	国・道支出金	650,000	216,000			866,000
	市債	529,000	284,000			773,000
	その他	0	0			0
	一般財源	331,000	127,000			453,000
実績	事業費	1,509,000	-	-	-	1,509,000
	財源内訳					
	国・道支出金	656,500				656,500
	市債	518,000				518,000
	その他	0				0
	一般財源	334,500				334,500
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)				47.2%
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)						
(全体)						
[19年度]事業費の推移欄の実績事業費については、18年度から19年度への繰越金を含む。						
[20年度]						
予算の計には、翌年度への繰越分を含まない。						